

外国語教育メディア学会（LET）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2014年度 12月例会のご案内

日時： 2014年 12月 14日（日） 13:30～17:00

会場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： LET会員 無料
京都外国語大学英語教育研究会会員 300円
学生 200円 一般 500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） j_suzuki@kufs.ac.jp

内容：

13:10～ 受付
13:30 開会

Emoting. Languaging. Authoring the world.

京都教育大学 西本有逸

CALL システム更新と教室工事があったため、久方ぶりの例会再開となりました。今回は動機づけ・自律・協同等がキーワードです。私自身の20年来のヴィゴツキー・バフチン研究から話題提供を致します。Emotingとは生理的な情動から文化的な情動に切り替わっているか、Languagingとは言葉を尽くしているか、Authoring the worldとは世界観を起ち上げているかという教員あるいは生徒の様態です。様態というのは認識論と存在論とが交差する、まさにあり様であって、ここからこそ動機づけ・自律・協同等を捉える必要があります。今の応用言語学やSLA研究は認識論のみで勝負しており、欠陥があります。最終的には「学習者の自己発達運動」（ヴィゴツキー）が大切となります。

途中休憩

学習者自律の育成を考える—学習プロセスの統制と協働学習の視座から

京都教育大学大学院修士課程1年 二宮宏樹

近頃、「自律（自立）」、「主体的」、「協働」といった言葉をよく目にするようになったように思います。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見据え、文部科学省は英語教育改革において提言をまとめました。それに関し、「主体的に課題を

解決する思考力・判断力・表現力等の育成は重要な課題」だと位置づけるとともに、「ペア・ワークやグループ・ワークなどを積極的に取り入れ」ることや「生涯にわたって外国語を学んでいく動機付けとしての学校における学習」を推し進めています。また、PISA 2015では、「読解力」「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」の3科目に加え、「協働型問題解決能力」に関する出題が決まっています。日本のみならず、世界的にも「協働」に注目が集まっています。

ところで、「自律」と「協働」は、一見すると「自己対他者」のように相反するもののように思われませんか。私は、これらはむしろ、相互的に作用し合い、学習者に何らかの影響を与えるものだと考えています。ご参会の皆さまとも協働的に意見を交換し合いながら、自らを顧みる機会になればと考えています。

この度の研究会では、公立高校での昨年度の取り組みや、一昨年に取り組んだ卒業論文の内容をご紹介させていただくとともに、ご参会の先生方にも一部体験していただくことも考えております。師走のお忙しい時期とは存じますが、どうぞ宜しくお願い致します。

17:00 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約40分）。徒歩約8分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約15分）。徒歩約8分。

2) JR京都駅よりJR奈良線利用の場合

JR京都駅でJR奈良線に乗り換え、普通電車でJR藤森駅下車（乗車時間約8分）。徒歩約3分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約40分）。徒歩約8分。

お願い： 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は j_suzuki@kufs.ac.jp までお知らせください。

今後の予定：

2015年 1月11日（日）1月例会 於）京都教育大学

「小中接続で語らなければならないこと—概念形成と自己意識から人格発達へ」

京都教育大学 西本有逸

「小学校段階における無理のない読み書き表現について」

京都教育大学附属京都小中学校 武内弥生

3月21日（土）・22日（日）

第21回中学高校教員のための英語教育セミナー 於）キャンパスプラザ京都

「小学校英語をうけて中高の英語教育はどのように変わらなければならないか？」

講師はあの阿野幸一先生です！